

会長メッセージ

先般の全弓連定時評議員会で事業報告が行われ、事業報告書の中に、気になるデータがありました。
名誉会員加入状況:25人で44位、称号者数:57人で40位、弓道誌購読:126人で30位でした。ちなみに、会員数:1836人で24位、そのうち中学生:328人で9位、高校生:886人で26位、大学生:185人で19位、一般:439人で33位です。
平成22年の国勢調査では、奈良県の人口は30位でした。称号者数も少ないですが、称号者の数の割に名誉会員加入者が少なく、下位から4番目でした。
名誉会員の意義を理解していただき、少なくとも、称号者の皆さんには、加入していただきたいと思いました。
奈良県弓道連盟 会長 吉本清信

7月1日の県民体育大会総合開会式場にて、奈良県体育協会から、本連盟理事長の西中 正氏に、その長年の功績に対して“奈良県体育協会功労賞”が授与されました。おめでとうございます。弓道では昨年度の吉本会長に続いての快挙です。



◆第63回 奈良県 県民体育大会

(ならスポーツフェスティバル21)

開会に先立ち、中央審査で合格された新司さんに七段の認許状が、東中さんには錬士の認許状が吉本会長から手交されました。
大会は、雨天のため予定していた遠的競技を近的競技(立射)に替えて行い、近的(立射)8射、近的(坐射)8射の合計16射での競技を行いました。
日 時：平成24年7月1日(日)
会 場：橿原公苑弓道場

参加人数：

- ・市郡対抗 【男子】10チーム
【女子】7チーム
- ・公開競技 【男子】11人
【女子】19人
【熟年】10人



大会結果：

○市郡対抗(団体)

- 【男子】優勝：香芝市 32中 辻本 元威・竹岡 滉貴
竹村 邦夫
- 2位：橿原市 27中 長濱 正伸・原田 祐介
綿松 昭寛
- 3位：生駒市 26中 山口 亮二・鈴木 規央
山下 朝慈

- 【女子】優勝：奈良市 32中 明瀬 綾子・揚田 よう子
深田 紀美子



- 2位：橿原市 27中 小野 温美・不破 香奈子
東中 千佳
- 3位：桜井市 26中 仲尾 瞳・吉岡 瑞紀
明崎 静代

○個人戦

- 【男子】優勝：辻本 元威(香芝市) 1 3中
- 2位：山口 亮二(生駒市) 1 2中
- 3位：乾 光孝(生駒郡) 1 2中
- 【女子】優勝：揚田よう子(奈良市) 1 3中
- 2位：仲尾 瞳(桜井市) 1 1中
- 3位：小野 温美(橿原市) 1 0中

○公開競技

- 【成男子】優勝：菅沼 利人(橿原) 1 1中
- 2位：佐竹 裕介(奈良) 1 0中
- 3位：太田 和宏(奈良) 1 0中
- 【成女子】優勝：林 秀子(橿原) 1 3中
- 2位：猪原 旬子(奈良) 9中
- 3位：横井 千世(奈良) 7中
- 【熟年】優勝：吉本 清信(布目) 1 0中
- 2位：井戸上 博一(布目) 8中
- 3位：徳田 四郎(奈良) 8中

(競技部長濱)

◆ 2回伝達講習会兼第1回スポーツ指導員講習会

6月10日(日)奈良市弓道場において、四・五段及び支部指導者を対象とした第2回伝達講習会と、それに並行して第1回スポーツ指導員講習会が行なわれました。スポーツ指導員受講生16名とあわせて51名の参加者となりました。

伝達講習会は、西浦指導部長ほか近畿地区指導者講習会に参加した3名、スポーツ指導員講習会は須田副会長、新司副会長を講師として指導を受けることになりました。野尻講師(教六)による矢渡しに続き、西浦講師による伝達内容の説明がありました。基本に忠実に行なうことを基本テーマに、特に膝を生かすことをごまかさないうこと、呼吸、道場内での見取り稽古は正座で臨むことなどの具体的な説明がありました。その後立ち方、坐り方が基本通りできるか、膝を生かしているか、執弓の姿勢、入場の際の目線・弓の末弭の位置・呼吸で他の人と合わせているかなど、実際に弓矢を持っての指導がありました。一手行射の最後に称号者による持的射礼の演武が行なわれた内容でした。

スポーツ指導員の講習は、須田講師による「弓道の特性」についての講話がありました。弓道は射技と射心合わせたものと考えられる。古くは儒教の長幼の序などタテの秩序が重んじられ親、兄弟のなどの人間関係を支配した社会が構成されていた。しかし、江戸の中末期の安政3年の武術の改定により、弓術は武士のものではなくなって遊戯化し、明治、大正期には賞品稼ぎのような現象まで起きてしまった。

こうした流れに反発し、奥村閑水、本多利実といった人たちが弓を本来の武道として確立させることに努力してきた。こうした先人たちの後に続いて阿波研造といった射技にも精神的に高みに至った人が輩出されてきた。阿波研造の弟子の神永政吉、千葉胤次、安沢平次郎、高木槩といった人たちが、精神性の高い弓道の実現に尽力され今日がある。射において最善(誠)を尽くしたかが礼につながり、このことが日常生活に繋がる、これが射技と射の心を一体とした日本の弓道といえる。という内容の深い講話でした。

また、新司講師は「弓道の射技理論」、「基本体型と射法八節」というテーマでの講演でした。弓道における動作の重心は常に体の真ん中におき、呼吸に伴う動きであることが重要である。動作には必ず意味があり、その動作の意味は教本の中にある。教本の射法八節図解の中の小さな文字で書かれた留意点を取り上げて詳しく解説され、今さらながら教本の内容の深さを知らされました。

さらに弓道の引き分け動作で使われる筋肉についての大学のレポートから、初心者が引くときに作用する筋肉

部分とその強さ(負荷)とベテラングループのそれとの比較例を紹介された。練習を積むことで使われる筋肉の場所と力の強さが全く異なっていることが理解できました。

吉本会長が見守る中、多人数にもかかわらず参加者全員熱心に受講され、指導された講師の方々も力が入っている様子が見てとれ、充実した完成度の高い講習会であった(指導部 千葉健一)

◆ 第240回地連臨時審査

7月16日奈良市弓道場にて審査会を実施しました。受審者総数106名。

結果は、1級18名、初段39名、二段10名、参段5名、四段は小林宏樹(郡山)、鈴木規夫(奈良)、藤田舞(奈良)の3名の皆さんでした。

おめでとうございます。次の目標に向けて頑張ってください。(審査部)

◆第63回 奈良県中学校総合体育大会弓道の部

- 日時 7月15日(日)
- 会場 奈良市弓道場
- 種目 男・女 近的団体戦及び個人戦
団体戦及び個人戦 各人12射とし、的中数にて順位を決する。

4 試合結果 男子団体

- 優勝 香芝A(上山友暉・藤山享紀・平田真悟)
- 2位 檀原C(藤岡圭太・木村謙一・谷端光瑠)
- 3位 八木B(梅田匠人・平野亮・草田裕司)

女子団体

- 優勝 檀原E(熊木亜純・橋本優美・徳永亜希)
- 2位 香芝A(弥富舞羽・上田春菜・渡邊鞠子)
- 3位 大成B(中川昌莉・吉田成来・香川知奈美)

男子個人

- 優勝 上山友暉(香芝)
- 2位 梅田匠人(八木)
- 3位 井上拓剛(八木)

女子個人

- 優勝 上田春菜(香芝)
- 2位 浦 芹香(八木)
- 3位 徳永亜希(檀原)

(中体連)

【編集後記】

皆様のご協力により、7月号も無事発刊することができます。更なる情報の提供をお願いします。(土谷)